

# 4月から市民負担増のラッシュ

## 国保、水道料金、介護保険など

### くらしと福祉を守り、改善を

2月議会（2月14日から3月22日）は、新年度予算など39件の議案審議、代表質問など行う重要な議会となりました。

合併3年目を迎え、合併協議での積み残してきた国民健康保険税（昨年9月議会可決）、水道料金（同11月議会可決）、介護保険税（同2月議会可決）、さらに後期高齢者医療保険料、住民税、学校給食費、ごみ収集袋の有料化などまさに住民負担増のラッシュです（別表）。

今議会に提案された新年度予算の一般会計、国保、水道などの特別会計予算、市税条例、介護保険条例、指定管理者の指定など11議案に反対し、討論もおこないました。

新年度予算の基本方針は、多くの住民負担増には一切触れず、清久工業団地や菖蒲南部開発産業

団地などの開発が優先され、市民要望が大きい暮らしや福祉の充実に向けた施策は不十分のままです。

長引く不況の中、民主党政権による「税と社会保障一体改悪」による消費税増税でさらに市民の生活が破壊されて行くことは許せません。

日本共産党市議団が予算要望した182項目の実現をはじめ、今後も市民の皆さんとともに、具体的な行動・運動もすすめていく決意です。

### 公共交通検討委員会を通して 見えたもの 循環バス、デマンドバスについて

公共交通検討委員会は、11年12月16日の第9回をもって市長への答申の運びとなりました。

しかし委員の一人として、この答申の内容そのものが、委員会全員で頭をひねりかんかんがくがく議論した末に生み出した最良のものとして、胸を張れるようなものでないことに、大変辛いものを感じています。

つまり、委員会自体に主体性がなく、行政の提案を追認するだけの機関

になり下がっている点が先ず問題です。又昨年の8月にパブリック・コメントに対し、市民の意見を募集しましたが、ここに寄せられた意見はどう扱われたかと言え、原案として示された『旧久喜市とそれに隣接する鷺宮の一部と菖蒲の一部に循環バスを伸長運行。他地域はデマンド・バス』に合致しないものは全て切り捨てです。

これでは何の為に意見を求めたのか理解に苦しみます。要するに形だけの市民

#### デマンドバスとは？

予約すると自宅まで迎えに行き、そのバスで予約した目的地へ予約した時間に着きます。途中で他のお客さんが乗車、下車することもあります。

久喜市のデマンドバスは、菖蒲、鷺宮、栗橋からは他の交通機関に乗り換えないと旧久喜市中心部まで行けないようです。



左の写真は津波の被災地ではありません。栗橋地域の強化堤防のために家屋が立ち退いた跡地の一部です。

#### 別表

|            |     |          |          |
|------------|-----|----------|----------|
| 国民健康保険税    | 平均  | 0・9%増    | 1億6786万円 |
| 水道料金       | 平均  | 7・1%増    | 1億8406万円 |
| 介護保険税      | 平均  | 34・5%増   | 3億7016万円 |
| 後期高齢者医療保険料 | 1人  |          | 3334円増   |
| 住民税（復興税）年間 | 市民税 | 500円、県民税 | 500円     |

（平成26年度から10年間）

#### 測定器の貸し出し要求 3月から実施へ

福島第一原発事故による放射線量の測定は今なお市民から強い要望があります。

市では初期から空中や局所的に高い（ホットスポット）と予測される場所を測定し、局所的に高かった栗橋西中学校体育館周辺や青葉小学校などの除染を実施して来しました。

日本共産党は、放射線量の測定を希望する市民へ、測定器の貸し出しとともに給食や農作物の検査体制拡充を要求して来ました。測定器の貸し出しは、新たに購入した4台で3月21日から始まっています。

農作物は県や生産者団体、農協と連携し国指定機関が調査をしています。学校給食は月1回一部食材について業者委託で実施しています。

今後は市独自で調査を実施するため国民生活センターの測定器貸与制度を活用予定ですが、借りられなければ、市独自で購入し測定を開始するとしています。

#### 生活相談と 「しんぶん赤旗」 申し込みは

木村ともり議員  
Tel 22-8567  
渡辺まさよ議員  
Tel 21-9058  
杉野おさむ議員  
Tel 58-9010  
石田としはる議員  
Tel 52-7260